

抜 粋 版

Beyond EXPO 2025

～副首都として成長・発展をめざす万博後の成長戦略～

大阪府・大阪市

1. Beyond EXPO 2025の策定趣旨

- Beyond EXPO 2025は、万博後の持続的な成長・発展と、府民の暮らしの向上に向け、大阪が進むべき道を示す指針(成長戦略)として策定
- 万博後の大阪の成長・発展の実現に向けては、万博のレガシーを継承したうえで、これまで以上に経済力・都市力・人材力を高め、世界に伍する大阪を創り上げていく必要
- さらに、現在法案化の議論など副首都に向けた動きが進む中、副首都・大阪の実現を見据え、我が国の経済のけん引機能を担う一極として成長していくことが必要
- こうした認識のもと、本戦略では、大阪の成長に向けた基本的な考え方や施策の方向性を示すものとして取りまとめた
- なお、本戦略の「基本的な考え方(基本方針、めざす都市像、目標等)」については策定後5年ごとに検証を行い、「施策の方向性(具体的な取組)」については毎年度更新してバージョンアップをはかっていく

※ Beyond EXPO 2025は、「大阪府及び大阪市における一体的な行政運営の推進に関する条例(2021年4月施行)」に基づき、大阪府が大阪市から事務委託を受けて策定

※ 策定された戦略は、今後おおむね10年間の府市共通のビジョンとして位置付け、府市それぞれにおいて、具体的な施策を検討し、実施する 1

3. 大阪の現状 ～10年間の取組と万博で大阪のポテンシャルが大きく向上～

- 2015年の万博誘致以降、府市一体の成長戦略やまちづくり・インフラ整備を進めてきた結果、大阪は大きく変わりつつある。直近の名目GDP(2022年度)やインバウンド(2024年)は過去最高を記録するとともに、人口も転入超過が継続。雇用者数も大きく増加
- 2025年、大阪・関西万博が開幕。未来社会の新技术・サービスが披露され、大阪ブランドの世界への発信とともに、ビジネス機会が拡大
- この10年間で「副首都・大阪」に向けたポテンシャルが高まる一方で、府民一人ひとりの豊かさの実感には十分つながっていない

直近10年間の主な取組

■ 成長に向けたエコシステムの形成

- ・ 大阪産業局、国研究機関の誘致、国際金融都市の取組など

■ 成長産業拠点の形成

- ・ ライフサイエンス(中之島クロス、健都、彩都)、カーボンニュートラル、スタートアップなどの分野で拠点形成が進展

■ まちづくり・インフラ整備

- ・ 新大阪、うめきた、大阪城東部、夢洲
- ・ 淀川左岸線、なにわ筋線、モノレール延伸、北大阪急行線延伸、関空容量拡張

■ 都市魅力の向上

- ・ 国際会議(G20、G7)・世界大会(X Games)、世界遺産登録(百舌鳥・古市古墳群)
- ・ 世界を魅了するコンテンツ(都心のみどりづくり、大阪中之島美術館など)

■ 次世代への投資

- ・ 高等学校、大阪公立大学等の授業料等の完全無償化など

■ 国内外の人材の活躍

- ・ 外国人材の受入れ促進など

■ 人材の集積に向けた取組(安全安心対策の強化等)

- ・ 南海トラフ巨大地震に備えた防潮堤液状化対策を完了
- ・ 老朽化が進む三大水門の更新に着手

万博を契機とした更なる飛躍



■ 会場内外で最先端技術・サービスの披露

- ・ iPS心筋シート、空飛ぶクルマ、Japan Health

■ 官民を挙げた様々なチャレンジ

- ・ リボーンチャレンジ

■ ビジネスマッチング機会の創出

- ・ GSE関連イベントの開催、海外ビジネスミッション団の受入れ

■ 世界を魅了するイベントの開催

- ・ 大阪ウィーク(春夏秋)、ナイトショー(ドローン・噴水ショー)
- ・ 会場内外での大型イベント(スペシャルライブ、祭りなど)

■ 大阪の個性を発揮した魅力発信

- ・ 大阪・光の饗宴、OSAKAリバーファンタジーなど

■ 国際交流

- ・ テーマウィーク、府内自治体と世界の国々との交流など

■ フレンドリー気質の醸成

- ・ 万博ボランティア延べ3万人が登録(会場:1.4万人、大阪まち1.6万人)

■ 世界規模のイベントを開催できるノウハウの構築

- ・ テロや要人の安全確保対策(ドローン飛行等の規制条例など)
- ・ 災害時に備えた対策、情報共有の仕組みづくり(協会、府・市、救助機関、公共交通機関との連携体制構築など)

- ✓ 過去最高の名目GDP
(2022年度: 43.1兆円)
- ✓ 新技术・サービスの実装
ビジネスの機会が拡大

- ✓ インバウンド過去最高
(2024年:1,409万人)
- ✓ 世界における大阪の
認知度が大幅に向上

- ✓ 2011年以降転入超過傾向
(2024年: +1.9万人)
- ✓ 雇用者数が増加
(2011-22年度: +42.4万人)
- ✓ 1人あたり府民所得は微増
(2011-22年度: +43万円)
- ✓ 世界的イベントにも対応
可能な都市基盤の構築

万博をインパクトに大阪の中核性・拠点性が高まり「副首都・大阪」に向けたポテンシャルが大きく向上
こうした取組を継続させ、府民の暮らし(賃金、QoL等)の向上につなげていく

2. 基本方針とめざす都市像

- 大阪府・大阪市としては、新たな成長戦略である「Beyond EXPO 2025」の策定・実行を通じて、副首都として必要な「中枢性・拠点性」や「東京とは異なる個性・新たな価値観」を向上させ、「副首都・大阪」の早期実現と日本経済をけん引する成長エンジン機能の発揮をめざす
- 具体的には、万博で高まった「民のチャレンジ」「都市プレゼンス」「発信力・求心力」「グローバル力」をオール大阪で更に磨くことを通じて、2040年代に名目GDP80兆円を実現し、約2倍となる経済規模への拡大をめざす

■基本方針・めざす都市像■

【基本方針】 副首都・大阪の早期実現及び日本の成長をけん引

【めざす都市像】 世界に伍する経済力・都市力を有し、唯一無二の魅力がある都市

➡<目標> 2040年代に名目GDP80兆円を実現

【重点分野】 世界に伍する経済力・都市力を実現し、日本の成長をけん引

経済力 ◆ 大阪独自の強みを活かした次世代産業にチャレンジするイノベーション先進都市

都市力 ◆ 大阪独自の魅力を発揮したワクワク・オモロイを掻き立てるエンタメ都市

【副首都を支える基盤】 経済力や都市力を支える土台づくり

人材力

◆ グローバル人材やクリエイティブ人材が集積・輩出するエネルギーギッシュな拠点都市

**まちづくり・
都市基盤**

- ◆ 「ほっとかれへん」「やってみなはれ」気質を活かしたフレンドリーな都市
- ◆ 成長を支える高度な都市機能を備えた都市

**副首都にふさわしい
機能づくり**

◆ 平時の成長エンジン機能・非常時のバックアップ機能を果たす都市

副首都・大阪の実現

日本の成長エンジン

Well-Beingの向上

3（１）．大阪独自の取組の考え方

- 国・地方を上げて成長型経済への移行を積極的に進めていくことに加えて、市場拡大が見込まれる成長分野において、大阪の強みや万博のレガシーを継承した取組をオール大阪で実行していくことで、実質成長年平均2%の実現をめざす

【大阪が強みの発揮できる分野について】

◆成長産業分野◆

ライフサイエンス

カーボンニュートラル

モビリティ

ロボット・AI

スタートアップ

◆観光分野◆

インバウンドの増

国内旅行者の増

リピート率の増

消費単価の増

【獲得市場の拡大に向けた取組】

《次世代産業を大阪から生み出す取組》

- ◇万博で披露された新技術等の大阪での実装化、産業化
- ◇スタートアップ(ディープテック分野)の創出・成長の促進
- ◇国内外から大阪への投資を呼び込む仕組みづくり
- ◇次世代産業の集積促進
- ◇次世代産業を支える人材の確保・育成
- ◇拠点形成に向けた土地活用の促進

《訪問者・消費単価の増加をめざした取組》

- ◇IRを核とした夢洲における新たな国際観光拠点の形成
- ◇世界水準のMICE都市の形成
- ◇国内外の旅行者を呼び込む、大阪の個性を活かしたキラコンテンツの創出
- ◇ターゲットに刺さる情報発信の強化
- ◇旅行者が快適に過ごせるおもてなし体制の充実

1. 将来の大阪の姿

- 大阪・関西万博により、ライフサイエンス・ヘルスケア、カーボンニュートラルなど、様々な分野でイノベーションが加速。加えて、各国との間では、文化、ビジネス、外交など新たな関係が構築。次代を担う子どもたちは、多様な文化などに触れ、「未来社会」や「世界」を体感するなど、多くの成果をもたらした。
 - Beyond EXPO 2025 では、こうした成果を糧に、万博を契機に芽生えた最先端技術の社会実装と産業化、国際的な展示会・カンファレンスの継続開催等を通じて、万博のレガシーを確実に継承し、大阪に根付かせる
 - さらに、成長産業の集積、夢洲をはじめとしたまちづくり、道路・鉄道網の整備などにより、「経済の成長」「都市力の向上」「人の集積」が互いに高めあう好循環サイクルを定着・加速させ、大阪をさらに飛躍につなげ、「世界に伍する経済力・都市力と唯一無二の魅力」を持つ「副首都・大阪」を早期に実現する
 - これらの取組により、府民の所得の向上や雇用の創出といった暮らしの基盤を一層強固なものとし、府民一人ひとりが豊かさを実感できる未来社会を構築する
 - 具体的には、
 - ・新しい挑戦が芽生え、多様な人が自分の可能性に「チャレンジ」できるまち
 - ・世界水準のエンターテインメントや歴史、豊かな自然などにより、「ワクワク」楽しくなるまち
 - ・思いやりや「フレンドリー」気質が府域全体にあふれ、誰もが自分らしく暮らせるまち
 - ・最先端技術の実装により、健康で快適な「生活」を送れるまち
- こうした「未来社会」の構築を通じて、大阪の持続的な成長・発展と府民の暮らしの豊かさを実現し、府民のWell-Being のさらなる向上を図る